

西日本豪雨被災地高浜地区災害復興支援

地域の一員「ウェルケア高浜」としての支援

社会福祉法人 喜久寿
地域密着型複合施設ウェルケア高浜

認知症対応型通所介護事業所ウェルケア高浜
所長 乗松 雄希

社会福祉法人 喜久寿



ウェルケア重信

「心豊かな自立をめざして」
高齢者総合福祉施設です。



ウェルケアみどろ

地域に密着したグループ
ホームとデイサービスです。



あいくる重信

「愛がいっぱいやってくる」
施設を目指します。



久万の里

豊かな自然と人情に恵まれた
総合施設です。



ウェルケア畑寺

明るくたのしい介護付き
有料老人ホームです。



ウェルケア高浜

住み慣れた地域で「その人
らしい暮らし」を大切に。



ウェルケア道後

緑豊かな環境で
地域に愛される施設を目指します。

社会福祉法人 喜久寿 ウェルケア高浜

地域密着型介護老人福祉施設（29床）
通所介護事業所（32名）
認知症対応型通所介護事業所（10名）
小規模多機能型居宅介護（20名）
短期入所生活介護事業所（9床）
居宅介護支援事業所



松の木2丁目 観光港トンネル
前の交差点を太山寺方面へ

ウェルケア高浜の理念（地域）

- 「地域社会のニーズに応え、福祉サービスの提供を通じて地域に貢献すると共に、自主的な経営基盤の強化に努めます」（法人の経営理念のひとつ）
- 地域貢献は「社会福祉法人」としての使命。
- ウェルケア高浜は高浜地区（主に松ノ木）の方々に地域の方の為に…とご説明させていただき、平成22年1月26日に開設しました。地域の方あつてのウェルケア高浜です。「地域の一員としての役割」を担っていきながら「介護施設として地域の安心拠点になる」為にも心を込めて対応します。介護保険にこだわらない柔軟な形で、地域に貢献させていただく事を「信念」としてしています。

災害時の施設としての備え

- 備蓄（水、米、割りばし、紙皿、プラスチック、プラスチック深皿、レトルト食品、栄養補助食品、カセットボンベ、ガスボンベ等）
- 避難訓練
- 地域との連携、ネットワーク作り

など

地域の一人としての活動

松の木地区サロン（夏祭り・クリスマス会）







高 浜 地 区 防 災 連 合 会 勉 強 会 加
懇 親 会 へ の 参 加



高浜の防災連合会ってすごいです！

「高浜地区自主防災連合会」は内閣総理大臣賞を受賞しました！



「高浜地区自主防災連合会」会長 蔭原 政徳さんは 個人としても内閣総理大臣賞を受賞しました！



地域防災の旗手たたえ 松山・高浜の蔭原さん 総理大臣表彰

2018年10月8日（月）（愛媛新聞）

シェア ツイート LINEで送る 文字 小 大

印刷 保存

地域防災に長年取り組んできた愛媛県の松山市自主防災組織ネットワーク会議の蔭原政徳副会長（71）＝高浜1丁目＝が2018年度防災功労者内閣総理大臣表彰を受け、5日、市役所で野志克仁市長に受賞報告した。西日本豪雨では地元高浜地区で大きな土砂崩れが発生したものの人命被害を出さず、自主防災活動の成果を發揮。蔭原さんは「これからも課題を探し改善してゆきたい」と気を引き締めている。



防災功労者内閣総理大臣表彰を受けた蔭原さん

最年少防災士 二宮 快地 君

11歳防災士に 災害備え学ぶ

松山・高浜小5年二宮君 高齢者施設訪問

2018年3月6日（火）（愛媛新聞）

シェア ツイート LINEで送る 文字 小 大

印刷 保存

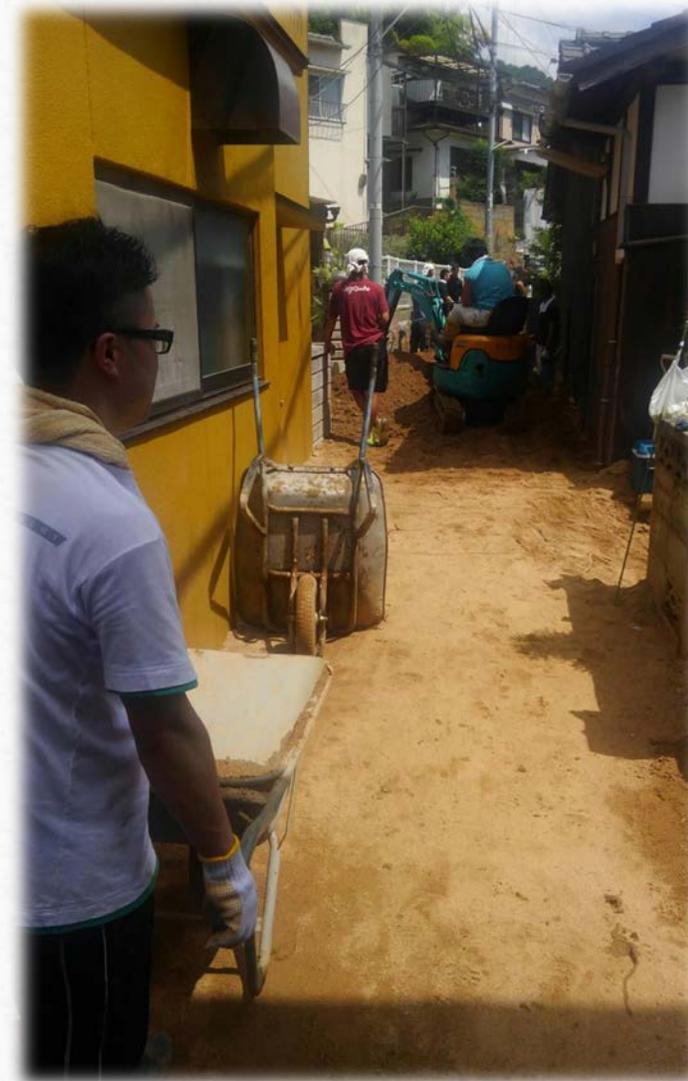
防災士の資格を持つ愛媛県の松山市高浜小学校5年の二宮快地君（11）＝石風呂町＝を招いた防災教室が3日、同市松ノ木2丁目の地域密着型複合施設「ウェルケア高浜」であり、施設を利用する高齢者や地域住民ら約40人が日ごろから災害に備える大切さを学んだ。



防災を意識する大切さを強調した高浜小の二宮君



高浜豪雨災害に対しての支援



平成30年7月8日（日）
松の木サロン 夏祭り



この時は数百km離れた高浜で何が起きているか
全く知りませんでした。

平成30年7月8日（日）夜

蔭原高浜防災連合会会長の携帯へ連絡

施設 「大雨の影響で何か被害とかありますか？何かお手伝いする事とかありますか？」

会長 「あっ助かります。それなら明日朝8時に公民館に来てください」

平成30年7月9日（月）8時



公民館へ直行。蔭原会長に案内されて高浜1丁目の避難所（集会所）にて高齢の歩行状態の悪い方で体調不良の方や、4丁目5丁目等の土砂崩れによる家屋崩壊等を確認。

蔭原会長「体の悪い人を看護師さんに一回見てもらえたら。土砂除去も足りない」



写真提供：蔭原 政徳 様



写真提供：蔭原 政徳 様



写真提供：蔭原 政徳 様

「大変なことになっている。できる事をしよう！」

7月9日（月）初日の支援

- ① 1丁目集会所の方が倦怠感（なれない避難所の影響）。
支援：施設の看護師を派遣し、健康チェック実施後、地域包括支援センターへ報告。看護師派遣して下さるとの事。
- ② 4丁目土砂崩れによる土砂除去作業に全く人が足りていない状態。
支援：長靴とスコップを買って現場へ直行。
- ③ 公民館に行き、何が足りないか確認すると「飲み物」「氷」に困っている。
支援：厨房から氷をこの日から毎日（8月中旬まで）持参。ペットボトルお茶、飲み物を大量購入し持参。
- ④ 理事長に説明と承諾を得る。

7月10日（火）

①テレビに市役所やマンダリンパイレーツの方が支援に入った事が夜ニュースで放映。

（高浜の災害が少し認知される）



②土砂除去作業。



③公民館に飲み物、氷、米

④大洲市特養（「小規模特別養護老人ホーム清祥会ひまわり」さん）が肱川氾濫によりライフラインストップ。老施協を通じての受け入れ要請に対し承諾をする。13日大洲へお迎え3名の利用者を受入実施。

7月11日（水）以降

- ・情報の共有、周囲の施設へも協力を仰ぐ為、地域包括支援センターで話し合い。



写真提供：蔭原 政徳 様

女性職員も泥にまみれながら



多くの福祉関係の事業所から

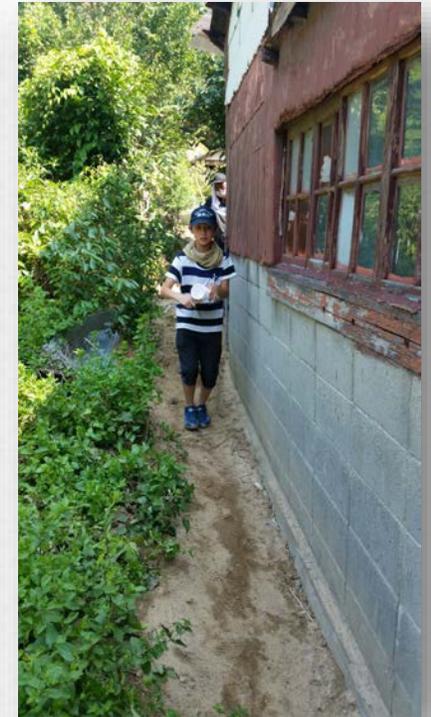


かき氷のおもてなし





冷たいかき氷をお届けしました！！



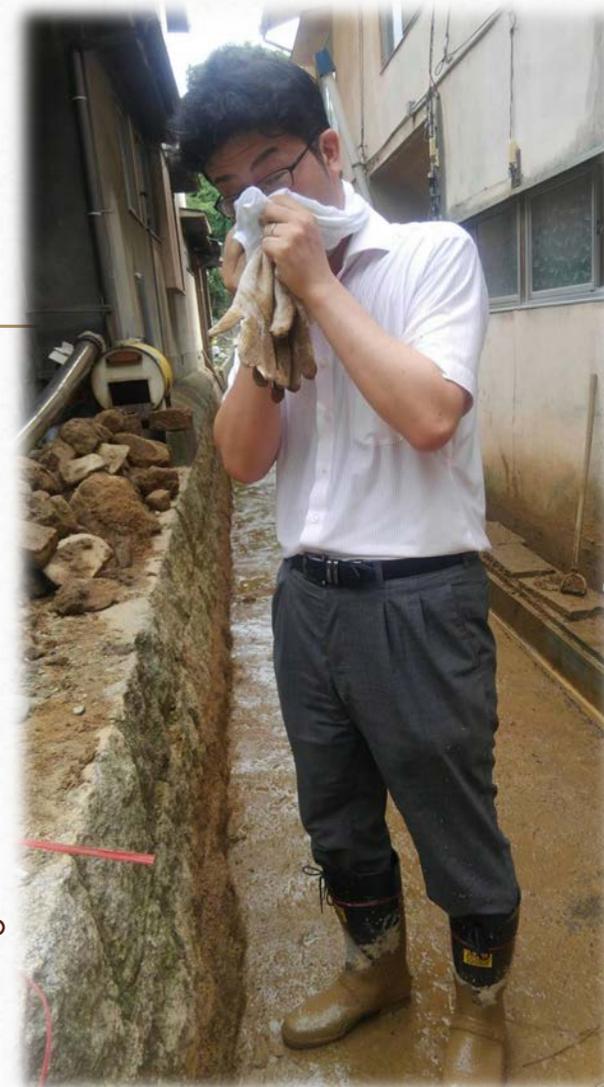
迷い…と判断の連続

- 衛生面（施設へ感染源をもちかえるのでは…）
- 二次災害による事故の心配
- いつまで続くのか解らない…

判 断

こんな大変な時に、リスクばかり考えたら何もできない。

「理念」に立ち返りとにかくできることをやってみて、
情報収集をしながら随時安全を確保していこう！！



その後…

令和元年5月29日 高浜地区まちづくり協議会が発足しました。

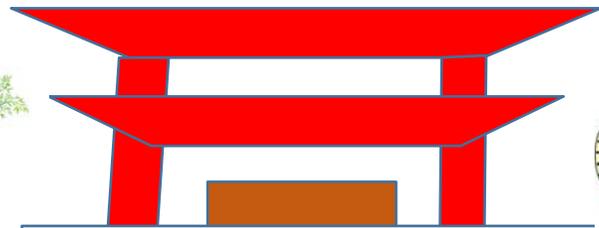
当時沢山のボランティアの方々の協力があったからこそ今の高浜がある。感謝の気持ちを込めて何か恩返しができないかと考え「高浜シーフェス」を実施することになりました。

介 護 連 発 足

「まちづくり協議会福祉企画部」のイベントとして三津浜地区地域包括支援センターを中心に地域にある介護施設で介護連を発足しました。

ウェルケア高浜で実施した松の木サロン夏祭りを元に「冬の縁日」を実施しました。

15m



パットライス



おでん
甘酒



長机

長机

ドラム缶
ストーブ



ドラム缶
ストーブ

リンク
ウェルケア



高浜ケーキ
長机 長机



電気

ふるさと

ラムネ
焼き芋



長机

愛あい



ヨーヨー釣り
スーパーボール

シート

長机

包括

輪投げ

長机

電気



四つ葉のクローバー

わたがし

電気

レンジ

ガス

長机

電気

金魚釣り

長机



テント
道具
物品置き場
両替所
相談ブース

○

○

長机

長机

たね

長机

長机

駄菓子

○

○



包括

長机

射的

小机

小机



包括

かたぬき
ひもくじ

長机

長机

電気

長机

音響
マイク





介護連全員で
シーフェス
準備！！



シーフェス当日













コロナ禍での取り組み

高浜「巣ごもり」プロジェクト ～ぞうきん5000枚の輪～

「高浜地区のみんなが元気で過ごせますように」「地区全体が温かい糸で繋がりますように」という想いを込めてみんなで雑巾を縫って各家庭に届けるプロジェクトを考えました。「コロナに負けるな、みんなで元気を出そう」というメッセージを込めながら高浜地区民生委員、他地域有志の方々、施設のご利用者、高浜介護連が一生懸命縫いました。



高齢者 独りじゃない

新型コロナ 松山の福祉関係者 支援模索

新型コロナウイルスの影響で高齢者が利用し、介護や福祉の担当者から、地域の手助けがなくなると、外出の機会も減った高齢者の体たがいの不安を軽減させることが課題。地方自治体や民間団体など、地域で暮らしつづける高齢者の生活を支えるために、自治体や福祉関係者が連携して支援体制を整えている。



新型コロナウイルスの影響で在宅介護の高齢者の生活が不安定になり、地域の手助けがなくなると、外出の機会も減った高齢者の体たがいの不安を軽減させることが課題。地方自治体や民間団体など、地域で暮らしつづける高齢者の生活を支えるために、自治体や福祉関係者が連携して支援体制を整えている。

自粛で懸念 地域つながる活動を



松山市の高齢地区の家庭に配る給食を届ける通所介護サービスの利用者(シエルケア高浜提供)

「コロナ禍で、離れ暮らしている高齢者の生活が不安定になり、外出の機会も減った高齢者の体たがいの不安を軽減させることが課題。地方自治体や民間団体など、地域で暮らしつづける高齢者の生活を支えるために、自治体や福祉関係者が連携して支援体制を整えている。」

「高齢者の生活が不安定になり、外出の機会も減った高齢者の体たがいの不安を軽減させることが課題。地方自治体や民間団体など、地域で暮らしつづける高齢者の生活を支えるために、自治体や福祉関係者が連携して支援体制を整えている。」

地 域 応 援 歌 プ ロ ジ ェ ク ト
～ も つ と 地 域 を 元 気 に ！ ～

地域の応援歌を作って、少しでも地域の方を元気にしたい！！

職員の白石英規さんがミュージシャンという事もあり、作曲をお願いしました。



プロジェクションマッピングプロジェクト ～秋の花火大会～

投影花火 壁に大輪

松山市の介護福祉施設がこのほど、新型コロナウイルスの影響で窮屈な暮らしとなっている利用者らを元気づけようと、プロジェクションマッピング（映像投影）を使った「秋の花火大会」を開催した。実施したのは同市松ノ木2丁目の「ウェルケア高浜」。施設では

松山の介護福祉施設 利用者満喫

老人ホームの利用者が家族との面会を制限されたほか、懇親行事が次々と中止になっている。屋上などで三津の花火大会を観覧する夏のイベントも取りやめた。

プロジェクションマッピングは施設職員らが企画。今治国際ホテルなどで実績がある今治市内の会社に協力を依頼した。10月24日、利用者約40人を4班に分け、約10分のプログラムを4回放映。スクリーンに見立てた施設の2、3階に縦約7m、横約15mの巨大映像が次々と映し出された。

上映後には拍手が起こり、利用者の岡田行美さん（70）は「見事な映像で引き込まれた」。父親と共に見た泉大助さん（59）は「少しでも楽しいひとときを過ごしてもらおうとする職員の方々の心意気がうれしい」と感謝していた。（宇和上翼）

プロジェクションマッピングの「花火大会」を楽しむウェルケア高浜の利用者ら



見えてきた課題

- もっと早く他の施設との**連携**を図ることができたのでは？（**ネットワーク作り**）
- 今後、災害が起きた時に施設として何が出来るか？
- **地域全体が被災したら？**
- **認知症の方や身体の不自由な高齢者に対するの支援**
- 情報の発信方法や連絡網の活用方法

○防災連合会会長（反省会にて蔭原会長より）

- ボランティアは基本弁当を持参してもらうが、今回は食中毒の可能性もあったので、炊き出しを行った。
- 現場と本部との**連携**不足
- ボランティアの人数の把握が難しかった
- **自主防災の意識**



豪雨以降の地区自主防災連合会としての主な活動事例

- 防災マップの修正
- 被災した町内の全世帯に注意事項を配布した。
- 被災箇所別の状況から復旧状況を記録に残し続けている。
- 高浜独自で行った防災調査票から（回収率は7割）要支援者台帳（独居高齢者を含んだ要支援者希望者）支援協力者台帳、人材台帳（看護師、介護士含む）の作成。
- 要支援者マップ作成から安否確認訓練の実施。
- コロナ禍のおける分散避難を勧めるに当たり、避難者数と避難所収容人数の把握を事前に行う必要性から、地域住民への調査を実施した。（回収率は7割）
- 地域サロン等への参加者対象に救助笛の配布を実施。
- 防災士勉強会等へ施設関係者も参加して信頼や親睦を深めている。
- 自主防災連合会の年間計画や訓練報告書等を介護施設にも提出し情報の共有を図っている。

地域で連携する上で大切な事

- 日頃から顔の見える仲のいい自然な関係
- 地域の一員として動く事が大切
- 地域との関係は継続が大切



とっても眠たくなる時間帯に、一生懸命
聞いて下さってありがとうございました！



2019/12/08